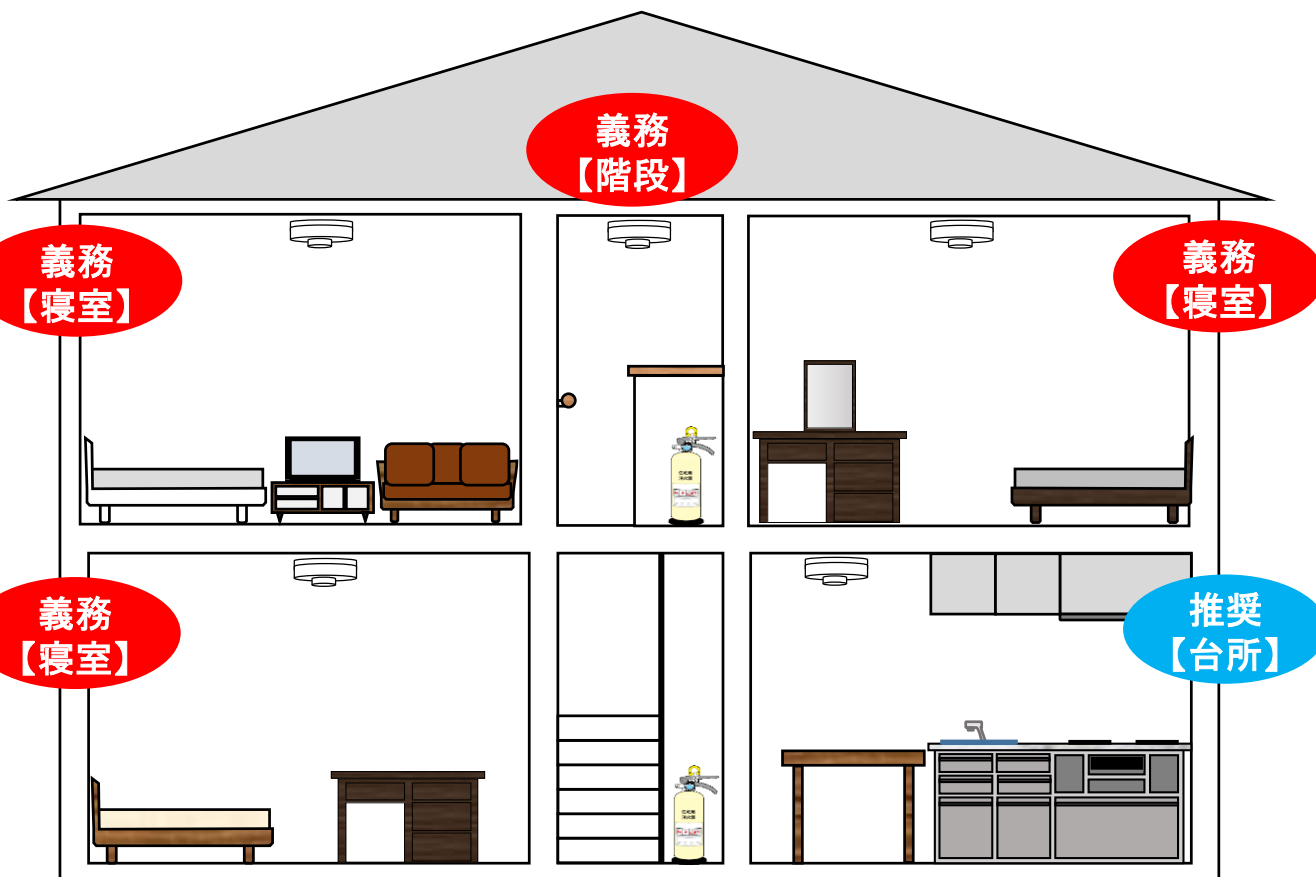


住宅用火災警報器の設置場所



寝室(義務)

普段就寝に使用する部屋
に取付けます。

【煙式を設置します。】

階段(義務)

寝室がある階の階段上部
の天上または壁に取付け
ます。

例 2階に寝室がある場
合は取付けが必要です。

【煙式を設置します。】

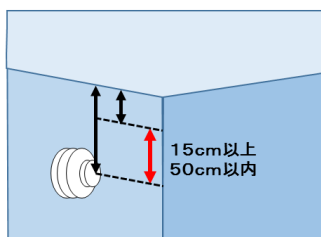
台所(推奨)

火を使うことが多い場所
です。設置することをおす
すすめします。

【熱式をおすすめします。】

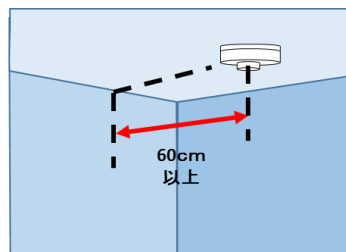
壁取付けの場合

住宅用火災警報器の中心を天上から**15～50cm**の範囲内
に設置します。



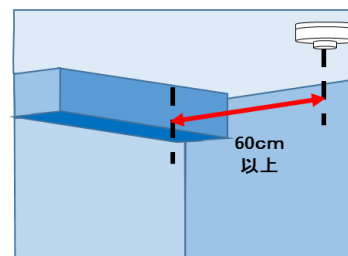
天上取付けの場合

住宅用火災警報器の中心を壁から**60cm**以上離します。
(熱式は**40cm**以上)

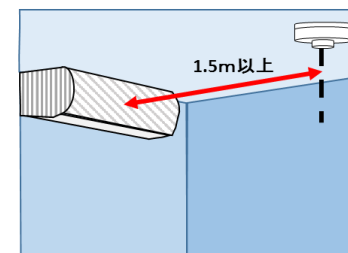


はりがある場合の取付

住宅用火災警報器の中心をはりから**60cm**以上離します。
(熱式は**40cm**以上)



エアコンなどの吹き出し口付近の取付け
換気扇やエアコンの吹き出し口から**1.5m**以上離します。



住宅用火災警報器の維持管理には定期的な点検が必要です!!



【電池切れ注意！】

定期的に点検ボタンを押すなどして作動確認をしましょう。警報音か音声が鳴れば正常です。
※電池の寿命は約10年ですが、機種や動作環境により異なります。

【定期的にお手入れ！】

住宅用火災警報器はホコリが入ると誤作動を起こす場合があります。

【火災以外で警報音が鳴ったら！】

電池切れや故障の時も音や光で知らせてくれる機器があります。
(※警報音が鳴った時の対処法は取扱説明書で確認しておきましょう。)

点検方法



「ボタンを押す」



「ひもを引く」

- ・ 正常な場合
「ピーピーピー」、「ピーピーピー火事です」、「正常です」など
- ・ 電池切れの場合
「ピッ… ピッ…」、「ピッ電池切れです」、「…無音…」など
- ・ 故障の場合
「ピッピッピッ… ピッピッピッ…」、「ピッピッピッ故障です」、「…無音…」など

※警報音はメーカーや製品により異なります。